

無理せず最大の効果を上げる漢字教育を採用して

島根県斐川町立出東小学校校長 中間幸夫

私が出東小学校の漢字教育を直接知ったのは、昭和55年秋の教育研究会で行われた、出東小の周藤祥一先生の発表を聞いてからです。先生は子どもの国語力、特に漢字を読む力をつけるために、日常生活に常に出てくるような言葉は一、二年生でも思いきって漢字で教えること、国語以外の教科でもそれぞれの教科の重要用語は表意文字である漢字で教える方が理解され易いこと、また、国語の教科書に漢字を貼ったり、板書も学年の新出漢字の配当などに囚われず思いきって漢字を書くなどして、子どもたちに漢字を数多く眼にふれさせることが読み書きの力に効果があることなどを、調査結果や具体例をあげながら発表されました。この発表を聴いて、私は平素から子どもたちの読み書きの力不足を感じていたので、共鳴することも多く、強い印象を受けました。

しかし、それ以前に有線放送で出東小の子どもたちが文語文や論語を暗誦するのを聴いたこともあり、感心はしながらも、小学生にその内容を理解できないだろうし、わざわざ教科書に漢字を貼るなど行き

過ぎではないかなどと考えて、私は当時勤めていた大社小学校で、すぐにそれを実践する気にはなれませんでした。

当時、大社小の一年生の「学級だより」を見たり教室をのぞいたりすると、「学校」「学年」とか、曜日や教科名などが全部かなで書かれており、私自身非常に読みづらく感じていました。そのため、時には板書で、平易な日常語は思いきって漢字にするようにしたこともありました。先生方も「かようび」より「火曜日」の方が、子供にはよくわかって喜んでくれると話していましたので、その後、出東小の実践を少しずつ取り入れるようになりました。

こんな次第で、出東小の漢字教育に半信半疑であった私が、昨春その出東小に勤めることになりました。前任の稲田和夫校長から、第一声で「漢字教育を続けてほしい」と要望され、不肖の私が、この伝統ある実践、研究を引き継ぐことになったわけであります。

出東小では、昭和51年春、足立前々校長の時に、「子どもの生涯に役立つ教育研究を」という願いから、まず教科書が理解できるようにと、「読む力を伸ばす研究」に取り組みました。そして、稲田前校長もこれを受け継ぎ、さらに読みの中でも漢字に着目して、大東文化大学の石井勲先生の指導を受けながら、「石井方式」による漢字教育の実践、

研究を始めたのです。こうして今日まで7年間、幾多の問題に逢着しながらも漢字教育を鋭意続けてきました。

この結果、子どもの国語力、ことに漢字の読み書きに大きな成果が見られるようになり、たしかにどの教科を見ても落ちこぼれが減ってきてまいりました。私は出東小に着任してからまだ一年にもなりません、それだけに印象も鮮明です。一、二年生が「お話朝礼」でむずかしい漢字をすらすら読んだり、漢文や詩歌を暗誦したり、また三年生になったら新聞を無理なく読めるようになっていっているのには驚かされました。しかもこの読む力は単に国語学習のみでなく、他教科すべての学習の基礎となり原動力となって、大きな効果をあげております。

この出東小の漢字教育の目をみはる成果は新聞、雑誌等のマスコミにも注目され、今年も県外の学校や東京の新聞社からの参観が相つぎ、いずれも子どもたちが漢字に親しんでいる姿を見て感動されていたようです。

出東小の児童は文字への抵抗もなく、読書などにも積極的に取り組んでおり、子どもの手応えもしっかりとあります。このごろの青少年は一般に漢字に対する抵抗が強く、読み書きの能力が劣っており、これが学習不適應や非行を作る大きな要因となっているようですが、その意味からも出東小の漢字教育は今日的課題に応えるものだと感心

され、最近では全国的に注目されるまでになりました。

今年も、これまでの漢字教育の伝統を受け継いで、漢字朝礼、漢字貼りなど、この教育を基礎として、より広い言葉の世界を知ってもらうために詩歌の暗誦などを続けるとともに、教師の全員が授業を公開しあい、研究を進めてきました。

この研究紀要は57年度の実践と研究の成果を記録したものです。試行錯誤の実践記録なので、まちがいもありますし、また必ずしも指導の成功例だけではありません。しかし私たちはここにのせられた記録を踏み台として、「子どもたちに読む力を」と念じ、漢字教育を始められた先輩の心を心として、さらに実践と研究を積み上げていきたいと考えています。

終わりに今年も盛夏にもかかわらず遠路お越しただいてご教示を賜りました石井勲先生に深く感謝申しあげ、今後も変らぬご指導をお願いする次第でございます。また出東小から転出された先生方も尊い記録を寄せていただきありがとうございました。そして本校の研究部をはじめ先生方の労を多とし感謝いたします。

(昭和58年3月)